

Annual Report

2020

北上信用金庫

まるみえ
見えしんきん

北上信用金庫のミニディスクロージャー



この街と生きていく。



北上信用金庫



信用金庫イメージキャラクター
信ちゃん鬼剣舞 Ver

業績のご案内

◆ 預金積金及び貸出金の状況

■ 預金の状況

2020年3月期の預金積金残高は、前期比947百万円増加の92,110百万円となりました。

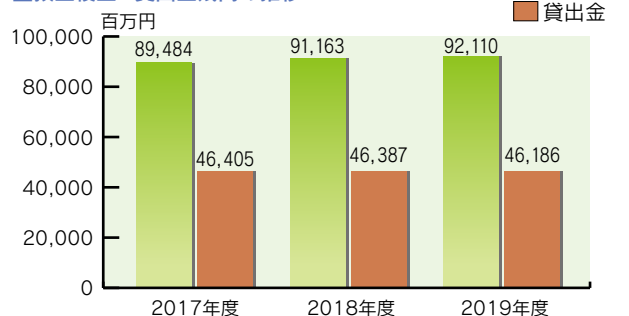
預金積金残高のうち個人預金が73.5%を占めております。

■ 貸出金の状況

2020年3月期の貸出金残高は、前期比200百万円減少の46,186百万円となりました。

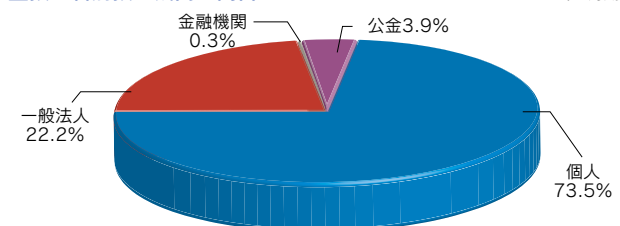
また、特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

■ 預金積金・貸出金残高の推移

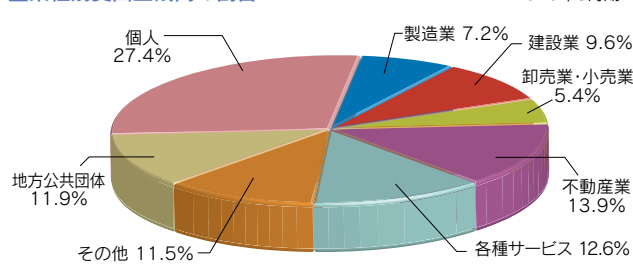


地元のお客さまよりお預入れいただいた大切な預金は地元で事業を営む事業者や個人のお客さまにご融資することで、地域社会に還元しております。

■ 預金者別預金残高の割合

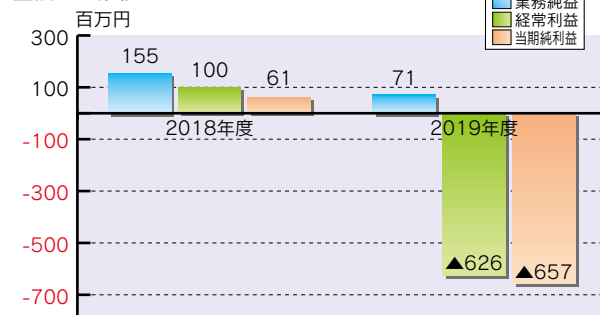


■ 業種別貸出金残高の割合



◆ 損益の状況

■ 損益の推移



安定した収益の確保に努めております。

将来の景気減速等に伴う貸倒リスクに対応するため、保守的な貸倒引当金の積み上げを行ったことから、経常損失626百万円、当期純損失657百万円を計上しましたが、金融機関の本業の利益を示す業務純益は71百万円を計上しました。

地元の事業者や個人のお客さまの資金需要にお応えするとともに、各種リスク管理を徹底し、安定的な収益確保に取組んでまいります。

※「業務純益」とは、金融機関の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金や為替業務等金融機関本来の業務から生まれた利益です。

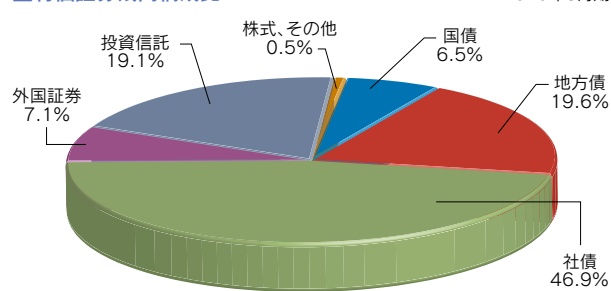
※「経常利益」とは、業務純益に貸出金償却、貸倒引当金繰入額等の臨時損益を加減したものです。

※「当期純利益」とは、経常利益に特別損益を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

◆ 有価証券の時価情報

お客様からお預かりしております預金積金は貸出金のほか、有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債をはじめ、公社債等で運用しております。

■ 有価証券残高構成比



■ 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

該当ございません。

■ 売買目的有価証券

該当ございません。

市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

■ 満期保有目的の債券

	2019年度			
	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,379	41	83	41

1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。

2) 時価は、2020年3月末における市場価格等に基づいております。

■ その他有価証券

	2019年度			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	17,899	371	476	105
株式	2	△1	—	1
債券	13,063	190	269	79
その他	4,833	181	207	25

1) 貸借対照表計上額は、2020年3月末における市場価格等に基づいております。

2) 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券、日高見ファンド、投資信託及び外国証券です。

3) 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

	2019年度	
	貸借対照表計上額	
その他有価証券 非上場株式		9

北上信用金庫と地域社会

～地域社会の発展と活性化をめざして～

◆当金庫の地域経済活性化への取組み

当金庫は、北上市、西和賀町を重点事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助の金融機関で、地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民と強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供に止まらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

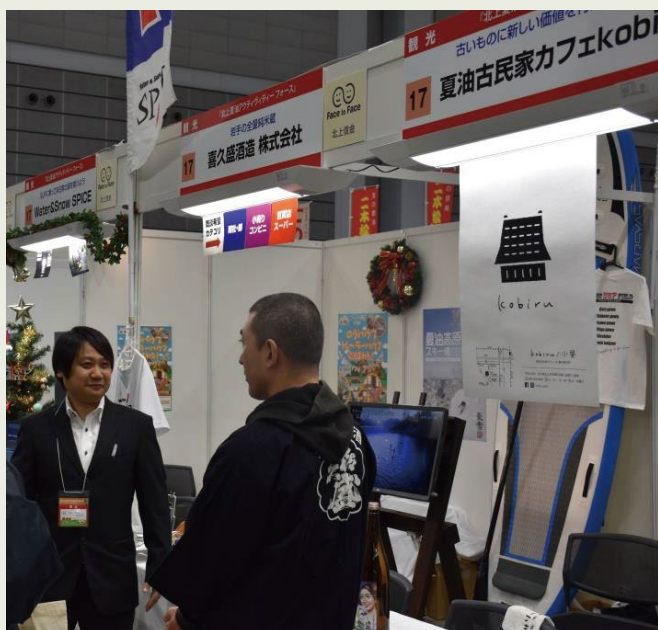
◆地域の活性化のための取組の状況(2019年4月～2020年3月)



2010年より「きたしん次世代経営塾」を開催し、若手経営者、次世代後継者の育成支援に取り組んでおります。



当金庫が組合員となり、「日高見の国地域振興ファンド」を2019年より設立。地域内の創業促進及び創業間もない企業の成長を支援し、地域内の起業・新規事業の創出に向けて取り組んでおります。



「ビジネスマッチ東北 2019」をはじめ、各地で開催されるビジネスマッチにお取引様と共に積極的に参加し、各企業にサポート職員を配置し、成約率向上、販路拡大支援に取り組んでおります。



地域の次世代を担う子ども達への金融教育実施の一環として「鬼っジョブ～北上おしごとパーク～ 2019」に市内金融機関として唯一出店し、市内の小学生に対して窓口業務及びお札の数え方等の体験を実施しました。

地域社会の一員として

地域社会の一員としてさまざまな活動を展開しております

◆地域社会とのふれあい ～これからも地域の行事等へ積極的に参加・協力し、地域に貢献してまいります～



◆北上みちのく芸能まつり市民パレード



◆第17回 北上信用金庫杯少年サッカー大会



◆第2回 北上信用金庫杯少年野球大会



◆第19回 北上信用金庫杯ソフトテニス大会



◆春・秋の交通安全街頭指導



◆当金庫野球部による野球教室

きたしん会(きたしん会・信和会・西和賀しんきんクラブ・北上駅前しんきん友の会)・はばたきの会・ほほえみの会・きたしん健康友の会等を組織して、ゴルフ大会、親睦旅行など様々なイベントを開催しております。

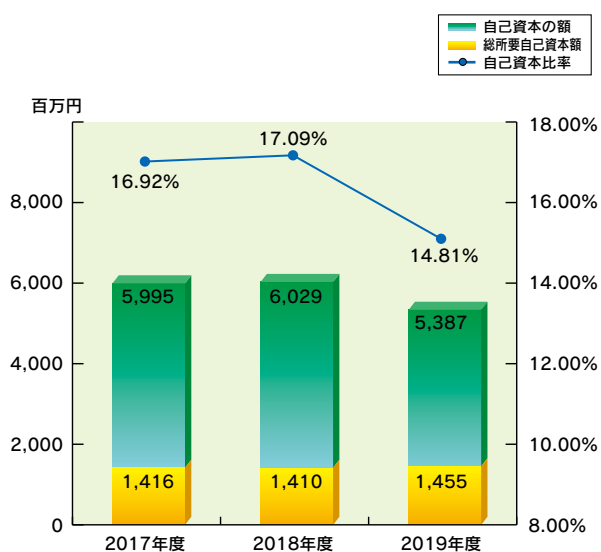
自己資本の充実の状況等について

◆ 自己資本の充実の状況

自己資本比率とは、信用金庫の経営状況を把握する重要な指標です。自己資本比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

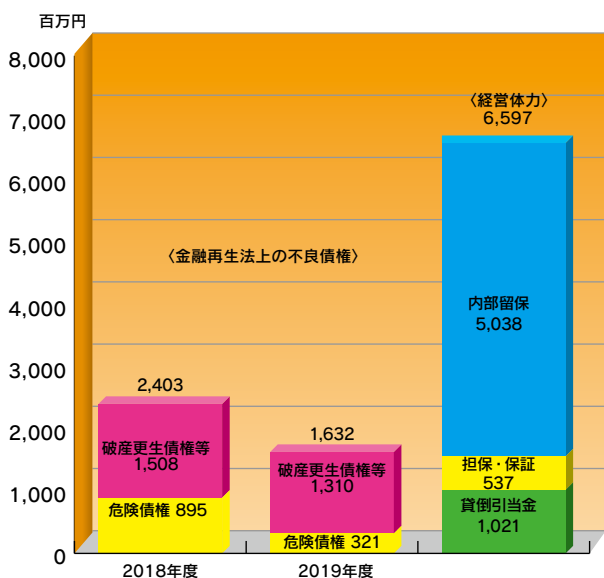
当金庫の2020年3月期の自己資本比率は14.81%で、国内基準4%の3倍超、これだけでなく都市銀行など海外で営業している金融機関の基準値(国際基準)8%をも優に超えた高い水準を維持し、十分な健全性を確保しており、皆様に安心してお取引いただける経営内容となっております。

■ 自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



◆ 金融再生法ベースの債務者区分による開示

■ 金融再生法上の不良債権と経営体力



体力には自信があります。

■ 自己資本に関する事項

(単位: 百万円)

項 目	2018年度	2019年度
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	6,176	5,562
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	147	174
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	6,029	5,387
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	35,269	36,377
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	17.09%	14.81%
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,317	1,364
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	93	90
単体総所要自己資本の額	1,410	1,455

(注) 「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

※「コア資本」とは、会員の皆様からお預かりしている出資金や、一般貸倒引当金などが該当します。

※「リスクアセット」とは、オンバランス・オフバランスの各資産項目にリスク・ウェイト(資産ごとにリスクの割合によって定められた掛目)を乗じて算出した額で、自己資本比率の分母になります。

※「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務の過程、役職員の活動、もしくはシステムが不適切である事などにより損失を被るリスクのことです。当金庫では基礎的手法を採用して算出しております。

※「総所要自己資本の額」とは、自己資本比率分母の額に4%を乗じて算出した額のことです。

資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前期比771百万円減少しました。また、不良債権比率は1.64ポイント低下して3.52%となりました。

これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により95.50%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力6,597百万円によりカバーされております。

※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。

※2020年3月末時点で実施した自己査定に基づき、金融再生法ベースで開示しております。

※「破産更生債権等」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

柳原支店新築移転OPEN!



毎週日曜日(10:00~17:00)開催!!

きたしんローンプラザ開設 北上信用金庫 柳原支店にて

新型コロナウイルスに関する融資のご相談もお受けいたします。
他店舗でお取引されている方、当金庫にお取引のない方からの
ご相談もお受けいたします。

ローンプラザ(ネットで)
来店仮予約はこちら

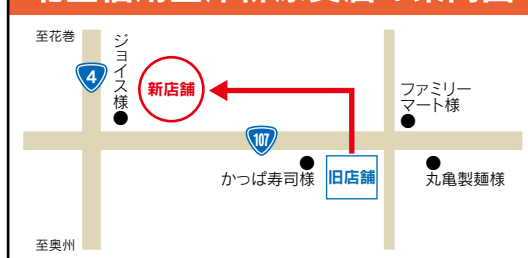


※審査によってはご希望にそえない場合もございます。
※相談申込業務以外(入金、出金、振込、税金、公共料金
収納業務等)はお取扱いきませんので、あらかじめご
承ください。

車のローン、
住宅ローン、
教育ローンも
OK!



北上信用金庫柳原支店の案内図



新型コロナウイルスに乗じた犯罪等にご注意ください!

新型コロナウイルスに関連した「特別定額給付金」の手続きなどを装った詐欺にご注意ください。

⚠ この手続きのために金融機関、警察、市役所等の公的機関の職員が、

- ・電話や訪問で、お客様の口座番号や暗証番号をお伺いすること
- ・キャッシュカードや通帳を受け取りに行くこと
- ・ATMに行って操作をお願いすることは、

絶対にありません
ので、ご注意ください。

【詐欺の手口】

- ・市役所の職員と名乗り、「特別定額給付金の受給のために必要」などと言って、口座情報や暗証番号を聞いてきたり、キャッシュカードを取りに来る。
- ・労働局職員と名乗り、電話で「新型コロナウイルス対策の助成金が出るので、口座を登録してほしい」などとATMに誘導し、振込みの操作をさせる。

地元とともに



〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号
TEL 0197-63-2307(代)
ホームページアドレス <https://e-shinkin.net>